



第57号

2022(令和4)年6月9日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会



### 目次

学長インタビュー……………P2-P3

学科の活動……………P4-P6

キャリア支援センター、保健室・カウンセリング室…………… P7

在学生、卒業生、学生自治会、部活動、創作作品展…………… P8-9

留学生支援、同窓会、学校行事…………… P10

研究センター、研究余滴、人生余滴…………… P11-P12

森と生きている、オープンキャンパス情報、ふるさと納税…P13

着任のみなさん…………… P14

本学の広報活動、本学の感染拡大防止対策、人事、公告…P15

就職状況一覧…………… P16



### 学長と高田学苑とのかかわり

大学で仏教思想史を専攻、昭和48年高田高校に仏教の教科の教員として赴任、その後多くの方に支えられ、助けられて長く高校に勤めてきました。卒業生から先生の仏教面白かったという声を聞いたりするとうれしいですね。また、毎月、本山専修寺(せんじゅじ)にお参りし講話を聴いたりして印象に残ったとの声を聞くと、子どもたちの精神的充実が伺い知れ、やりがいのある仕事でした。試験もしますが、答案には、こちらが逆に教えられるような内容があり、仏教を学ぶ上で子どもたちから刺激をうけました。短大には、令和2年に学長として赴任しました。

### 学苑創立150周年とは

専修寺では、寛保元(1741)年、専修寺第17世円猷(えんゆう)上人が本山学寮で宗典の講義を行われました。寛政8(1796)年には、第18世円遵(えんじゅん)上人により、学びのための勧学堂がつくられ、翌年には扁額「勧学堂」が掲げられました。明治4(1871)年には、堯熙(ぎょうき)上人が専修寺内に、貫練場を開設され、末寺子弟に仏典・漢文を教え始められ、翌明治5(1872)年には一般子弟も受け入れるこ

ととなりました。そこで、一般に門戸を開いたということ を重視して、高田学苑では出発点、つまり創立を1872年に置いています。西洋の新しい近代文化を受け入れつつあった思潮の中で、江戸時代から言われていた「学山高田」の興隆と地方においても教育に時機を逸しちやいかんということで、開校されたと思いますね。堯熙上人の先見の明には感服します。

以来、高田学苑では優れた人材が学び、巣立ち、各界で活躍されています。近年では、政治の舞台でも、田村国會議員、一見県知事、前葉津市長、竹上松阪市長などが活躍。豊かな個性を伸ばす教育環境のあられで学苑の魅力の一つではないでしょうか。

### 短大の創立と教育理念「やわらか心」

昭和41(1966)年に保育学科の設置とともに始まりました。戦前、前身の専門学校を高等教育機関として復活したい意図に加え、第二次ベビーブームのおり、まずは保育士を育てるところから始まったと思います。

教育理念として、親鸞聖人が大切にされた仏説無量寿経の中から「身心柔軟」、つまり「やわらか心」という教えを取り出して謳っております。生きていく上では豊かな感受性をもち、「和顔愛語」で接することで円滑な人間関係を築くことが大事です。そのため、自分自身にも、他者に対しても、視野の広い寛容な心をもつことが大事だと思います。たとえば、ボールのように、いろいろなものにぶつかっても、弾力性があるので、またありのままに戻っている、その柔らかな心を持つことが大切かなと思います。自己肯定感が低くなったり、ともすれば、悩んだり、また人間関係が作りにくい、そういう現代であればこそ、やっぱり「やわらか心」というものを育むことの大切さを少しでも学び、身に付けてもらえたら、と願っていますね。

今年は、高田学苑創立150周年にあたります。そこで、150周年の意味、短大の創立や教育理念、短大の未来や、学生さんへのアドバイスなどについて、梅林久高学長に語っていただきました。

(聞き手:図書館長・大野照文)



## 学長と植物、短大の森

植物を育てるのが私の趣味ですが、植物学の博士の牧野富太郎先生が、天皇陛下とのお話だったですかね、雑草という花はないと、すべて野の草、役に立たない草でも名前がついている、と。私も、牧野富太郎先生のこの言葉にぞっこんほれてます。ひとは千差万別ですが、それぞれに豊かな個性があり大切な尊い命をもっています。

また、四季折々に花を見ればだれも心和み、美しいと感じますが、それを支えている目に見えない根っここのところにも思いをはせるというか、そのことも大事にしたい。根がしっかりしていたらいつか花開き、実がなると。また、植物それぞれが、環境とともにうまく生きている。自身の自然のままの姿を見失わず、かといって自己主張するでもなく生きる、仏教ではこれを自然(じねん)といいます。いかに文明社会が進んでも、この精神というのは大事ではないかと思うんです。

さて、短大に来てから、わたしも間もないわけですが、短大の周辺の森には太い山桜の木や小檜の木が生えています。また、四季の変化もあり、鳥が鳴き、蝶が舞い、あるいはいろいろ虫もいるし、虫の鳴き声も聞こえる。まさに、この森には人の心を癒し、また気持ちを柔らかにする力があり、「やわらか心」を育むにもうってつけです。自然保育の場所としても絶好の空間です。このような素晴らしい森を、学生さん、教職員の皆さんと一緒に「たかたんの森」として整備を始めています。幸い、地主さんをはじめ、周辺の皆様から協力や援助をいただいております、本当に感謝しています。

## 短大の未来について

本学には、未来をになう子どもたちを育てる子ども学科と、地域産業とその活性化に誇りを持つオフィスワークコースがあり、そして介護が必要な方々の人生を楽しくいきいきとしっかりと支えてゆくための介護福祉コースとがあります。まさに、現代の社会に不可欠な3本の柱を備えた、小さいながらも社会・地域に大きく貢献できる短大であると自負しています。ただ、少子化のため学生の募集はおのずと厳しくなるということ、4年制大学進学志向にともない、短大離れの傾向がありますので、短大の存亡

を左右すると危機感をもってます。でも、ピンチをチャンスに変えたいと、そういう前向きな発想で動いております。

子ども学科では、優しさあふれた、より質の高い保育士、幼稚園の先生方を育て、本学の使命と魅力を一層高めたいと思っています。キャリア育成学科のオフィスワークコースでは、デジタル化や産業構造の変化から、学生の皆様たちが自身の将来の職業像を描いたうえで入学するということがなかなか難しくなっています。即戦力となるスキルアップをめざし、各自の適性の把握や将来の就活に直結した展開をしてゆきたいと、今これに注力しているところです。介護福祉コースについては、やはりスキルの高い、優しい人たちが育って介護福祉に従事してくれることを願っています。また、仏教の精神からも、介護福祉は重要で、県下最初の高齢者介護福祉施設である高田慈光院を設立したのも専修寺です。だからこの灯を絶やしたくはありませんね。嬉しいことに、コースを卒業した学生さんは、離職率が非常に低い。つまり、学生さんは高い目的意識と使命感をもって職場で頑張ってくれているのです。また、ネパールなど海外からも熱心な留学生がきてくれます。ありがたいことです。さらに、日本の子供たちにもっと関心をもってもらいたいということで、小中学生を対象に、介護に関する作文コンクールも始めました。

様々お話ししましたが、高田短大の魅力は無尽蔵です。短大の未来を拓くことは私一人の力ではとてもできませんので、全教職員、学生の皆さんと協力しあって喫緊の課題の解決を含め、地域から信頼と期待をされる有益で元気な学生あふれる短大作りに一層取り組んでいきたい思います。

## 短大生へのアドバイス

私の大学生の時代にも、ユニークな教授がおられ、楽しく授業を聞きました。自主休講という名のもとでさぼったこともあります。でも、学生である時間は短いです。そこで、とにかく何でも見てやろう、聞いてやろうという好奇心、貪欲で旺盛な好奇心を持って欲しいですね。また、皆さんは素晴らしい五感をお持ちですから、携帯電話からちょっと離れて、五感の力をもっと使って、友達と積極的に交流し、いろんな考え方にふれて心を豊かにしてほしいですね。時間は誰にも平等に与えられていますし、未来はあなたのために開かれていますから。



## 子ども学科



### 子ども学科のこれから

2020年度(令和2年度)生が2022年3月に卒業しました。本学に限らず短期大学に在学した2020年度生は、いわゆるコロナ禍中に学生生活を送らざるを得なかったといえます。遠隔授業と対面授業が織り交ぜられ、学内での友人との食事や交流が制限され、学生主体の大学祭などのイベントも殆どできませんでした。教員側としても2年間の学びの道筋をこれまで通り描くことが困難で、幾度か試行錯誤、軌道修正しながら何とか卒業まで漕ぎつけたというのが実感です。ただ、困難があるからこそ思考し新たに生まれ出るものがありましたし、保育者養成として学生さん達に必ず得てほしい学びの再認識ができた時でした。

### 学科教育の不易流行

この2年間は学科教育の「不易流行」を捉えた日々とも言えます。言葉の意味は「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。(三省堂・新明解四字熟語辞典)」ですが、まず変化しない本質的なものとして、保育者養成教育は「学習と実習との連動」により成り立つべきであるということです。感染拡大防止のため実習の代替授業が認められるようになりましたが、実習先のある限り実習は行うという学科方針のもと実習先のご協力とご理解を得て全実習終えさせていただきました。コロナ禍中の実習でしか得られないこと、実習生としての自己管理、感染対策下での保育活動にかかわれたことは貴重な経験でした。実習継続が困難な場面も少なからずありましたが、実習先からの「実習生として現場で得る学びは何にも代え難い」との言葉がけもいただきました。これからもよりよく連携しながら実習での学びを充実していきたいと思えます。

新しい変化としては、やはり遠隔授業です。コロナ前から学生の主体的な学習の支援システムとしてmanabaが

導入されていましたが、2020年度からは遠隔授業の主要で必要なツールとして活用が進みました。これまで2年生のゼミナール最終取組みとして「ゼミナール活動報告会」は対面で紙ベースの報告会資料作成をして行ってきましたが、2021年度は遠隔授業で対応せざるを得なくなり、報告資料はデータ作成しmanabaでのオンライン報告会に替えました。データ資料には音声、動画、写真を挿入することができ、それは各自のPCで間近に閲覧することができました。また、動画や写真などデータを加工・編集するスキルは教員よりも学生のほうが習熟しています。「保育内容・表現」授業では、グループで取り組んだ表現活動の過程と成果を動画などのデータとして記録する取組みを2年前から行っていますが教員の予想を超えるものが出来上がってきます。ICT教育が幼児教育の現場にも求められる時代です。何より子どもの生活にインターネット環境のあることが日常にもなっています。保育の場での活用について、これからの幼児教育・保育に対する方向をアンテナ高く捉えながら、また学生からのアイデアも取り入れながら進める時であると考えています。

### 特色ある保育者養成教育

国で定められた保育者の養成カリキュラムをいかに高田短大にしかできない内容・方法で取組むのかと3年前から問い続けています。現在、短大周辺の自然環境を活用し、自然を活かせる保育者養成を特色ある教育として構築すべく取組みを進めています。三重県は自然豊かで子どもが育つ場として恵まれているにもかかわらず、それを活かせる指導者が少ないとのことで、学外の関連機関や自然保育に携わる方々からも大きな期待が寄せられています(取組みの紹介は別ページ)。

今年度から5年間(2022年-2026年)の子ども学科中長期計画を立てました。その一つに「特色ある保育者養成教育の構築」を掲げています。今年度は、これからの子ども学科を見通しながら、2年間の学びの道筋を再構築するためにカリキュラムの見直し、特色ある科目創設の検討を行います。地域に貢献できる保育者の輩出が短大の使命です。子育て・保育の課題を踏まえた養成教育を目指していきます。

(子ども学科長 福西 朋子)

## キャリア育成学科 オフィスワークコース



### 主体性をもった人材の育成

オフィスワークコースでは、卒業後、地域社会で「あなたでなければ」と頼りにされる人材を育成するために、通常の授業だけでなく、さまざまな教育活動を行っています。今回は、その中から学生の自主性や主体性を伸ばすことを目的とした3つの活動を紹介します。

### 夏休みを利用して「社会体験実習」に行ってきました！

～オフィスワークコース1年生～

夏休み期間中、オフィスワークコースの1年が、企業や病院など様々な事業所で10日間程度の就業体験を行いました。

実習前には事前学習として、履歴書の書き方や事前訪問の心得、電話対応のマナーなどを学びました。実習中は、各事業所での実際の業務を通じ、組織の中で働く事の楽しさや厳しさ、そして、社会人としての心構えなどを学びました。

実習後に行ったアンケートでは、自ら積極的に行動すること、パソコンスキルやビジネスマナーを習得すること、また、仲間と支え合うことやコミュニケーションの重要性に気づき、今後の目標に掲げた学生が多数いました。社会に出るまでに取り組むべき自身の課題を発見し、卒業後の進路について考えるきっかけとなりました。



### 相互理解から始めよう！企業と高短生によるパネルディスカッション

～就活・採用のミスマッチを防ぐために～

企業の人事担当者と学生が就職活動や若者の育成・定着について、感じている不安や課題などを話し合い相互理解を深めることでミスマッチを防ぐとともに、学生が就職活動への第一歩を踏み出す後押しとするため、連携協定先の百五銀行・百五総合研究所と協力し、このパネルディスカッションを企画しました(令和3年11月15日実施)。

お招きした3社に自社の概要・業界の特徴、採用後の人

材育成や職場環境、求める人材などについてお話しいただいた後、学生からの質問にご回答いただき、その後はフリーに相互への質問・回答を行いました。

事後に取った学生アンケートでは「有意義であった」との回答が9割を超え、学生が将来を考える一助となったと考えます。



### 「ISE芋でつながろう2021」プロジェクト始動！

～川喜田ゼミ～

オフィスワークコース川喜田ゼミでは、高田会館あかり屋、和菓子店「春乃舎」とともに、「ISE芋でつながろう2021」プロジェクトを立ち上げ、多気町産伊勢芋の皮を使った和菓子「サンジノイセイモ」の商品開発を行いました。

商品名、形状、パッケージシールと梱包用のボックスデザインのすべてを学生が考案し、4月14日に製造工程に入りました。5月21日・22日に高田本山専修寺で実施される「親鸞聖人降誕会・お待ち受け法会」でのイベント「高田会館物産展」で、ゼミ生が商品のPR活動を行いました。



今後も、学内外での活動を通じて地元企業や地域の皆様から信頼される人材を輩出することを目指します。「オフィスワークコースの卒業生なら大丈夫」と言ってもらえるような信頼関係を築くために、地域社会からの要請に耳を傾けながら教育活動に取り組んでまいります。

(オフィスワークコース長 野呂 健一)

# キャリア育成学科 介護福祉コース



## キャリア育成学科介護福祉コースの取り組み

介護福祉コースでは、良好な人間関係を築く力である「ヒューマンスキル」と多様な人々とともに仕事に取り組むことができる「社会人基礎力」を持ち、介護福祉の専門能力を身につけて、地域社会で活躍できる介護福祉士を育成するため、さまざまな取り組みを行っています。令和3年度の取り組みを一部紹介します。

## 留学生がインタビューによる話題提供

令和3年9月12日(日)、東北陸ブロック介護福祉士養成施設協会教員研修会分科会で、2年生の留学生、バンダリ アンビカさんが、Zoomで研修会に参加し、多くの参加者のなかで、本学で学ぶにあたり入学前の不安から入学後どのようなサポートを受け過ごしてきたか、本学の留学生サポートの様子や生活の様子についてわかりやすく堂々と報告してくれました。

本学では、留学生支援室を設置し、学修面・生活面などのきめ細かなサポート体制を組んでいます。医療系や社会福祉制度等の授業に日本語補助員に入ってもらったり、日本語を学ぶ科目を多くカリキュラムに加え、また、履修単位には関係ない「日本語補習講座」なども開講しています。



## 大学周辺での焼き芋体験



令和3年11月26日(金)、ゼミナールⅠの授業のなかで、文化を学び高齢者をはじめさまざまな人々の生活や昔から受け継がれてきた日本の季節感あふれる生活の一部に

触れる貴重な体験を行いました。「焼き芋とは？」枯れ木を集め、火を起こしてさつまいもをどのようにして焼くのか、けむりに巻きこまれながら、美味しい焼き芋ができるまでのさまざまな工程を体感しました。学長が焼き芋づくりの講師です。食に対する日本人の郷愁や思い出、高齢者の思いに寄り添うことに一歩近づける体験でした。何より、ホクホクの焼き芋をみんなで食べる喜びは、今後、介護福祉士としてかかわる人々とのコミュニケーションを豊かにすることにつながると確信できました。

## 障害者支援施設まもり苑を見学



令和3年12月7日(火)、介護過程Ⅱの授業のなかで、社会福祉法人真盛学園 障害者支援施設まもり苑へ見学に出かけました。コロナ禍ではありましたが、感染状況が落ち着いていた時期に実現できました。

施設の支援員の方々に、丁寧にわかりやすく障害者支援施設の様子を伝えていただき、とてもたくさんを知ることができました。本学子ども学科卒業生の先輩たちから直接、仕事のやりがい、楽しさ、また、仕事を続けていくにあたって乗り越えてきた困ったことや苦しかったことなども、学生たちはリアルにたくさん質問を投げかけ、それらに本当に真摯に答えてくれました。最後に、入居者のみなさんの表情を見せていただくこともでき充実した時を過ごせました。

## ゼミナールⅢ報告会

毎年、行っているゼミナールⅢ報告会ですが令和3年12月23日(木)各ゼミの代表者合計9名が発表を行いました。とても真剣に取り組み質問も出てやりとりできました。



(介護福祉コース長 中川 千代)

## キャリア支援センター いつ行くの? 今でしょ!

### キャリア支援センターとは?

キャリア支援センターは、二号館学生昇降口を入って右側にあり、平日8時半から17時まで開室しています。学科教員と連携して進路相談や面接対策、ピアノの実技対策などのサポートを行っています。また、企業や園、施設の求人情報に加え、先輩方の受験報告など、就職・進学に役立つ独自情報も提供しています。SPI(適性検査)対策本など、資料の貸出も行っていきますので、いつでも気軽にお立ち寄りください。

現在、新型コロナ対策として、個別対応は30分単位の予約制で行っています。キャリア支援センターの受付簿に記名し、予約のうえ来室してください。電話(059-253-7000)またはメール(shinro@takada-jc.ac.jp)での連絡も受け付けます。

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられ、全員が成人として入学してくるようになりました。入学と同時に就職対策は始まっています。卒業後、即戦力の社会人として活躍するために、学内でも社会

人としてのマナーを意識して過ごしてもらうよう、「笑顔」「あいさつ」を大切にみなさんと接していきたいと思っています。



Web  
申請の  
お手伝い

志望動機もパソコンに入力したものを画面上で添削しています。

### どんな人がいるの? 何をしてくれるの?

CDA資格を有するキャリアカウンセラー兼アドバイザーの野崎千恵、公務員試験に精通した庶務担当の岡晃史、元銀行支店長の佐波睦巳、宮崎信明と元公立保育園・幼稚園長の青木眞理、中村昭子の4名のキャリアサポーターと、元県立特別支援学校・高等学校長で教員人事にも携わったセンター長の眞崎の7名が、それぞれの経験を活かして皆さんをサポートします。

(キャリア支援センター長 眞崎 俊明)

## 保健室 カウンセリング室「ホットステーション」

### 保健室紹介

保健室では、皆さんが心身ともに健康で充実した学生生活を送れるようお手伝いをしています。学校で体調が悪くなったときやケガをしたときは応急処置をします。

保健指導や健康相談を通して心や身体がより健康になるためにはどうすればいいかを皆さんと一緒に考えていきます。体調面(心と身体)で心配なことがあれば保健室に相談してください。

### 新型コロナウイルス感染症対策

新学期がスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症はまだ収束しそうにありません。引き続き、皆さんと一緒に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みを続けていきたいと思えます。

自分と周りの大切な人をコロナから守るために、今自分ができることを考えて行動しましょう。

### 具体的に何をすればいいの?

- |   |
|---|
| ①毎朝、体調を確認する習慣を身につけ、体調が優れないときは休養する                       |
| ②マスクをきちんと着用することで飛沫やエアロゾルによる感染をある程度防ぐことができる              |
| ③手洗い・アルコール消毒でウイルスそのものを壊すことができる                          |
| ④適度な運動・バランスのいい食事・十分な睡眠・ストレス発散・こまめな水分補給(乾燥を防ぐ)で基礎免疫力を上げる |
| ⑤三密(密閉・密集・密接)にならないことを意識した行動を取る                          |
| ⑥正しい情報(例えば厚生労働省や三重県のウェブサイト)を参考にして、ワクチン接種を検討する           |

(富永 礼子)

### カウンセリング室「ホットステーション」

私たちが生活の中でストレスのない状態というのはありません。ストレスというのはある種の緊張状態を指していますが、行動するためには適度な緊張は必要なものです。皆さんは授業に参加し課題をこなし、資格を取り、就活をしていくなど絶えず問題に向き合い精神的にも緊張状態にあります。通常はこの緊張状態を解消するために知恵を絞り、行動していくことで問題解決をしています。

しかし精神的緊張が過度に強く長期間続くと自律神経のバランスを崩して体調不良を来したり、気力が低下し、時には行動できなくなることもなります。人の言葉なども私たちの環境の一つですが、これが引き金となって過去の嫌なことを思い出しひどく落ち込んでしまうことがあります。著しい緊張状態で他のことも手につかなくなることがあるものです。

皆さんはこれまで問題にぶつかりながらもそれを乗り越えここまでやってきたわけですから問題解決力を持っています。その力を再び発揮できるようお手伝いをします。

悩んだり、ストレス状態が続いていると感じた時はカウンセリング室を使うことをおすすめします。ぜひ今の悩みやストレスをカウンセラーに聞かせて下さい。どんな悩みでもそこから心の緊張の解消をはかり解決に向けて皆さんと一緒に考えていきます。ストレスになっていたのは何か、どんなことに悩んでいたのかを見直してみることで問題解決への糸口を得ることができそうです。

これからのためにも皆さんにはストレスと上手に付き合い問題に対して適度な緊張をもって対応していく方法を身につけて欲しいと思います。是非カウンセリング室を訪ねてみて下さい。

(瀬島 美保子)

## 在学生コーナー

### 高短で学んだこと

子ども学科 2年

#### 山本 溪香

高田短期大学に入学して1年が経ちます。1年生では保育の基礎を学びました。学校では絵本の読み聞かせやピアノの弾き歌いを学び、実践してきました。紙皿シアターやスケッチブックシアター、手遊びを学ぶ実践的な授業で遊びの引き出しを増やせたことが、安心して実習に臨めた理由だと感じています。

2年生では障害児保育や家庭支援など、子どもについてより深い所まで学びます。保育者としてどのように子どもと関わっていききたいか、どのような保育がしたいかを今までよりもじっくり考える1年になると思います。障害を持つ子どもやその家族の支援について自分の考えを持ったうえで、現場の保育者の方の考えを聞き、より自分の視野を広げられるような実習にしたいと思っています。



### 短大生活 2年目

キャリア育成学科 オフィスワークコース 2年

#### 松田 東子

時の流れは早いもので、短大生活がスタートしてから1年が経ちました。学校生活にはすっかり慣れたものの、コロナ禍では中々思うようにいかないことも多く大変です。そのような中でもオンデマンド授業やリモート授業、感染対策を徹底した対面授業などを行い、学びの場を運営、支援してくださった方々には感謝しています。

2年生になり、本格的に就職活動が始まりました。学校生活と就職活動の両立を目指し、卒業と就職に向けて悔いが残らないよう、全力で頑張りたいです。また、今年は学生生活最後の年になるので、残された時間を有効的に使い、楽しい思い出がたくさん残るような充実した一年間にしたいです。



### 1年を振り返って

キャリア育成学科 介護福祉コース 2年

#### 橋井 伶奈

高田短期大学に入学して1年が経ち、度々オンライン授業になることがあるので心配になりますが、本学でさまざまな対策をしてくださっているおかげで今日まで無事に通学できているので、先生方には感謝しています。私が所属しているコースはクラスの大半が留学生であり、入学当初は留学生と会話が上手にできるか不安でしたが、想像以上に優しくフレンドリーであったので、今では留学生とも仲良く過ごせて嬉しく思います。勉強面では、先生方が丁寧に分かりやすくご指導して下さい、介護施設実習ではコロナ渦の中全員ができるように調整して頂き、安心して勉強に励むことができています。現場での介護施設で活躍できるよう、卒業するまでの残りの1年間を仲間と共に頑張っていきたいと思います。



## 卒業生からのメッセージ

- ①勤務先・進学先 ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと  
③将来の夢 ④高田短大とは ⑤後輩へのメッセージ

### 保育者として

子ども学科

令和3年度卒 藪 芹奈

①玉城町立有田保育所 ②笑顔で無邪気な子ども達と関わり、元気をもらっています。また、子ども達の命を預かる身となるため、責任感のある仕事です。他の先生方や保護者と協力して頑張っています。③子どもから「保育所が楽しい」と思ってもらえるように、みんなが楽しめる保育を考え実行できるような保育者を目指します。④私にとって高田短期大学は、同じ夢や目標を持った仲間と切磋琢磨し、保育者になるための土台を作ることができた場所です。様々な不安を抱えた時期がありましたが、先生方が常に学生の気持ちに寄り添ってくれたおかげで自分の夢をあきらめずに叶えることができた場所でもあります。⑤二年間という短い期間でたいへんなこともあると思いますが、同じ夢を持った仲間との出会いを大切に、後悔しないように学生生活を楽しみ、授業や実習も頑張ってください。



### 社会人になって

キャリア育成学科 オフィスワークコース

令和3年度卒 芝合 羽名

①JA共済連三重 ②嬉しかったことは、一緒に仕事に励む同期がいることです。嬉しいことや大変なことを共有できる仲間がいることはとても心強いです。業務が専門的で責任感のある仕事なので、覚えることが難しく辛いこともあります。早く業務に慣れ、正確かつ迅速に対応できるように日々頑張っています。③利用者様の不安をいち早く解消できるよう、落ち着いて対応できるスタッフになりたいです。そのため、利用者様一人一人に寄り添い、生活の支えとなるように貢献していきたいです。④どのような職場でも即戦力となるような知識や技術を身に付けることができる場所です。実際に、高短で学んでいたことを発揮できる場面があり、学べて良かったと思いました。⑤二年間は短く感じてしまうかもしれませんが、やりたいことがあったらどんどん挑戦して、後悔のない充実した短大生活を送ってほしいと思います。



### 介護福祉士になって

キャリア育成学科 介護福祉コース

令和3年度卒 鈴木 美咲

①特別養護老人ホーム美里ヒルズ花の街1丁目 ②ショートステイのスタッフとして働かせていただいている中で、限られた短い時間でどうすれば満足した生活が送れるのか考え、それを実施した際にみられる入居者様の笑顔が見れるのがとても嬉しいです。③ただ座って過ごすだけの1日だととても長く感じます。技術的に安心してもらえるだけでなく、退屈で長い1日を少しでも良くし、どれだけ忙しくなったとしても少しの時間でも寄り添える介護福祉士になりたいです。④高田短大は技術習得だけでなく、先生との距離も近く社会人になる意識を持たせてくれる場所でした。⑤二年間はほんとうにあっという間に終わります。後悔しないように何事にも全力で挑んでください。合格通知を見たときの喜びを体験できますように。



## 学生自治会

こんにちは、高田短期大学学生自治会執行委員会です。

3月に先輩方が卒業され、本格的に自分たちの活動がスタートしました。新型コロナウイルスの影響でどこまで自治会活動ができるかわかりません。多くのことが制限されますが、学校全体が盛り上がる楽しい自治会行事をできる限り開催しますので是非参加してくださいね。皆様の短大生活が有意義なものになるように自治会活動に励みますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



(学生自治会長 加藤 美佑)

## 部活動の紹介

本学には一般のクラブと強化クラブがあり、強化クラブには女子バレー部と女子サッカー部があります。女子バレー部は東海学連に加盟しリーグ戦を戦っています。女子サッカー部は高田高校女子サッカー部と合同で試合に参加しています。

一般のクラブについては、本学では5人以上のメンバーを集めて学生自治会に申請を行えば設立が可能なので、これまで多種多様なクラブ・サークルが存在しました。しかし本学は短期大学ということもあり、設立者が卒業の後も継続されていくクラブ・サークルは数少ないのが現状です。

そのような中でもいくつかのクラブ・サークルは長年にわたり継続しており、今年度も活動しているクラブ・サークルは吹奏楽部・軽音楽部・写真部・バルーンアートサークル・ボランティア部・国際交流部等があります。

どのクラブ・サークルもここ2年ほどは新型コロナウイルス感染拡大の影響で、十分な練習ができなかったり、試合や発表会が中止になってしまったり、活動休止状態になってしまったクラブ・サークルも少なくあり

ません。今も新型コロナウイルスの感染状況は大変厳しい状態であり、クラブ・サークル活動を行うには決していい環境ではありませんが、対外試合や高短祭に向けて感染防止対策を十分に行った上で活動を行い、本学での学生生活がより充実した2年間となるように、サポートしていきたいと考えています。

(学生課長 北川 裕之)



バルーンアートサークルの皆さんです

## 創作作品展でネパールを紹介

図書館で開催の創作作品展、昨年度は学生さん達からの12件の応募作品を1月11日から14日まで展示しました。

ひときわ注目を集めたのが、ネパールの紹介ポスター。留学生タパさんの作品

で、優秀賞を獲得しました。

この記事を書くにあたって、直接お話を聞く機会を得ました。お祭りのときに食べる、ヤギと鳥の肉などを使ったカジャセット、また、タパさん手作りのネパール餃子「モモ」など、おいしそうなネパール料理について、馬車や象にのって豊かな自然を楽しめるチトワン国立公園について、また、ヒンドゥー教とその建築を堪能できるシージー寺院について、など、ネパールのすばらしさを教えてくださいました。また、卒業後は日本で

介護関係の仕事につきますと、元気にお話ししてくださいました。

(図書館長 大野 照文)



介護福祉コースの  
タパ マガル ムナさん

## 外国人留学生支援室

現在、本学の留学生は1年生にネパール人13名、中国・ベトナム・スリランカ人が各1名ずつ、合計16名。2年生は17名が在籍していて、全員ネパール人です。1・2年生合わせて33名がキャリア育成学科の介護福祉コースで学んでいます。

介護福祉士の国家試験に合格し、介護福祉士資格を取得することを目標としています。介護福祉の技術と専門知識を不慣れた日本語で学ぶことはとても難しいため、外国人留学生支援室では経験豊かな日本語指導員2名を配置し、学業の日本語支援を行っています。

また、生活面など全般的な支援を行っており、留学生一人ひとりにアドバイザーを配置し、日本で生活していくためのサポートを行っています。(外国人留学生支援室長 北川 裕之)



## 同窓会の近況

近所の寺の女性部の集まりに参加して今年で4年目になります。「月一回の集まりやけど、元気に来ることが出来たわ」「足が悪くなってきたけど、ゆっくり歩いて来れるでええわ」と、以前から参加していたお姉さん方の言葉に出歩くことが少なくなって、唯一行くところは、医者だけなので、久しぶりに合う仲間に話が弾んでいます。皆さん月初めの集まりが、嬉しいのですね。集まりが中止になる時もありましたが、参加者の心のやすらぎの時間を(私も含めて)大切に、続けて参加したいと思っています。

さて同窓会活動は何もなく、役員会も実施出来ませんでした。役員同士のラインでのやり取りで済ませていました。以前は学校に集まって顔を見ながらそれぞれの近況を話したり、社会情勢の事を話したり、学校の様子など話したりしていました。今年のバザーはどうかかなど、話し合っていた内容を思い出します。コロナウイルスの影響が早く無くなれば良いと思っています。お互い顔を見て話をする事が、こんなにも心を落ち着かせるものかと、改めて考えさせられました。

(北端 一子)

## 卒業式・入学式

令和3年度卒業証書・学位記授与式が、3月19日(土)に挙行されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場には卒業生・教職員のみ入場可とし、来賓・保護者のご参加はお断りさせていただきました。春らしいこの日、卒業生は慣れ親しんだ学舎をあとにしました。

また令和4年度入学式が、4月2日(土)に挙行されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入学生・保護者(1家族1名のみ)・教職員のみ列席とし、規模を縮小して実施されました。

新入生はこの日より新たな学生生活のスタートを切りました。(事務局長・総務課長 藤山 真宣)



## 本山参詣

高田短期大学では、例年、午前中に入学式を終えた学生が、午後からは高田派本山専修寺へ移動して、合同参拝を行っています。本学では年4回の仏教行事を通して建学の精神を身につけていますが、本山参詣はその精神発祥の地に訪れるものです。数年前より、新入生の保護者の方々にも、この本山参詣へのご出席を呼びかけております。

まず、同行した教職員も含め、全員が御影堂に入りますが、この御影堂は、宗祖親鸞聖人の木像が安置されているお堂で、平成29年には如来堂とともに国宝に指定されました。入学前、新入生には、「仏教行事のしおり」と入学式で代表学生に贈呈された「お念珠」が一人一人に手渡され、室内ではお念珠の持ち方など、参拝作法が紹介されました。コロナ禍でなければ、「仏教行事のしおり」を使って、今後の仏教行事で行われる読経や仏教讃歌を練習します。さらに本山から「高田山専修寺」と書かれたしおりも配られ、御影堂が780畳敷という全国屈指の大御堂であるなど、本山諸堂の概略をしおりで知ることが出来ますが、室内では、本学の梅林久高学長から、本山の歴史、御影堂の詳しい説明があり、次に移動した如来堂でも、学長より如来堂についてのお話を聞くことができました。(仏教行事委員長 松山 智道)



## 新入生研修

令和4年度の新入生研修が4月22日(金)に実施されました。各学科・コースで協力して活動し、親睦を深めました。



◀子ども学科での創作ダンス発表会。ゼミ毎につくった衣装やダンスを披露しました。

オフィスワークコース ▶では紙で作成したビルの高さを競うチームビルディングとパターゴルフを行いました。



◀介護福祉コースでのレクリエーション「紙コップツリー」の様子。

## 仏教教育研究センター

### ● 特色ある研究

当センターでは、平成11年(1999)より学内外の研究員によって研究対象を『顕正流義鈔』(真宗高田派第十世、高田中興の祖、真慧上人の著)としています。まずその解説書で江戸期に真淳が著した『顕正流義鈔蒙引』(センター所蔵)を平成19年(2007)に『翻刻 顕正流義鈔蒙引』として発行するに至り、現在も研究員が月1回集まり、『顕正流義鈔の研究』(仮題)の発行に向け、研究内容の精査に励んでいるところです。

なお、『顕正流義鈔の研究』(仮題)の概容は次の通りです。

#### ○資料編1 真慧上人に関する様々な資料(写真も含む)

- ・「真慧上人肖像」 ・「墓石(本寺、滋賀県大津市西教寺)」
- ・「九字名号」 ・「六字名号」 ・「野袈裟」
- ・「書写聖教(中山寺蔵『浄土和讃』『正像末法和讃』)」
- ・『顕正流義鈔』刊本

#### ○資料編2 真慧上人著『顕正流義鈔』関連資料

- ・『顕正流義鈔』翻刻・現代語訳対照 付 頭註
- ・補註 ・西岸寺本写真版
- ・中山寺本写真版 ・科文(真淳作成の科文)

#### ○研究編

- ・『顕正流義鈔』の書誌および解題

##### 1. 『顕正流義鈔』の書誌

##### 2. 真慧上人の生涯

##### 3. 執筆の経緯

##### 4. 本書の内容

###### ① 内容概略

###### ② 本書で取り上げられた邪義

###### ③ 真慧上人の伝統重視の姿勢

###### ④ 真慧上人の念仏思想

##### 5. 本書の影響とその後

###### ① 執筆後の高田派と本願寺派

###### ② 真慧上人の伊勢教化

##### 6. 真慧上人の著作や写本など

##### 7. 本書の講録・先行研究等

#### ○年表

(仏教教育研究センター長 松山 智道)

## 育児文化研究センター

### ● おやこひろばたかたん

本センターでは、地域子育て支援事業として、学内で「おやこひろばたかたん」を開催しています。今までは学内の室内でのひろばでしたが、昨年度より戸外での「森のひろば」、新町会館での「出張ひろば」を行っています。「森のひろば」は自然の匂い・音・色などを五感で感じながら、親子でゆったりと過ごすことができる時間となっています。また、「出張ひろば」では学内とはまた違った少人数でのアットホームな雰囲気喜んでいただいています。

「おやこひろばたかたん」には、ボランティア学生も参加し、親子と共に遊びながら実践的な学びを深めています。

これからは環境や人の力を活かしながら、さらに地域に求められる事業を行っていきたいと思っています(詳しくは本学HPをご覧ください)。

(育児文化研究センター長 青木 信子)



◀「森のひろば」で絵本の読み聞かせ



「おやこひろばたかたん」の学生ボランティアと共に

## 研究余滴

### 実習評価とルーブリック

実習の評価は難しい。評価者が実習先職員であり、実習で身につけるべき事項が多岐に渡る。実習先によって実習内容に違いがあり評価者が異なる。評価結果の根拠が不明で学生には評価への不公平感が生じる。評価結果を見ても技術や姿勢がどの程度身につけているか把握できず次の目標が立てられない。何のための実習評価だろう。

学生の成長に寄与する評価を目指し、介護実習評価に用いるルーブリックの開発研究を進め、本学高等教育研究会が申請した「ルーブリック評価のIR分析を通じた介護実習の改善手法の開発」が2019年に科研採択された。

ルーブリックは、フィギアスケートで古くから用いられていると聞く。ルーブリックは、評価すべきパフォーマンスに複数の評価指標を用意し、各指標の評

価レベルを明確にした採点表である。この採点表を事前に被評価者に知らせ目標を明確にする。全員が同じ基準で評価の公平性が担保される。評価結果は開示され、被評価者は自分のレベルを理解し、評価後の目標設定ができる。

介護実習のルーブリックは、実習で身につけるべき事項を明確にした。評価活動に慣れていない介護施設の実習指導者も公平な評価が期待できる。学生は、評価結果から自身の現状と課題を理解し、目標を設定することができる。また、学生の自己評価と実習先指導者の評価の結果を集計分析し、学生状況を多角的に見える化できる。これを関連授業や実習先での実習指導にフィードバックできる。つまり、ルーブリックを用いた評価活動は、学生自身の成長のPDCAサイクルを回すエンジンとなり、養成校の授業や実習施設での実習指導の改善を進めるPDCAも回せる。

(高等教育研究会 鷲尾 敦)

## キャリア研究センター

### ●一身田寺内町活性化への提案

キャリア研究センターでは、津市・一身田商工振興会と連携して、一身田寺内町地域の活性化に係る事業に取り組んでいます。

令和3年度には中畑ゼミの学生が昨年度より取り組んできた「一身田寺内町活性化への提案」をとりまとめ、一身田商工振興会、津市、一身田寺内町の館、一身田寺内町ホットガイド会の方々をお招きし、7月5日(月)に報告会を行いました。

寺内町マップの作成や電子クーポンの利用、それらと連携させたウォークラリーなどのイベント開催、一身田寺内町のゆるキャラ「しんぼうくん」のグッズ開発などの提案を行いました。

この他、本学のボランティア学生が一身田商工振興会のインスタグラムで情報発信を行うなどしています。



### ●シニアパソコン教室(Zoom入門講座)

中央公民館との共催事業であるシニアパソコン教室のZoom入門講座を、6月26日(土)に午前と午後の2回開催しました。オフィスワークコースの学生や「情報ボランティアみえ」のスタッフ、鷲尾研究員が講師を務めました。コロナ禍でオンラインが日常的なものになってきた今日、シニアの熱い要望があり実現した講座です。

参加者が持ち込んだノートパソコンにZoomをインストールし、まず集合してのミニ講義を行いました。その後各教室に受講者1名ずつ分散し、スタッフが横についてZoomによるオンライン会議を行いました。

受講後も一人でできるよう、次の日に「Zoom茶話会」を催し、自宅からZoom体験する実践の機会を用意しました。

(キャリア研究センター長 中畑 裕之)

## 介護福祉研究センター

### ●介護福祉セミナー

介護福祉研究センターでは、昨年度2回介護福祉セミナーを開催しました。テーマはそれぞれ「牛乳パックを使った服薬手作り自助具」、「カラーセラピー～生活の『いろどり』を見る」と題



し、地域の方、在学生や次年度入学生、介護福祉職員にも参加していただき、介護福祉の普及啓発に努めました。カラーセラピーとは、色が人に与える影響を使って、心や身体の調子を整えていくセラピーのことをいいます。参加者はグループに分かれてその日の気分や場面に応じた印象の色を選ぶなど、グループワークを楽しみました。

### ●介護のみらいを考える作文コンクールの表彰式

高田短期大学と本センターの主催事業である、第2回介護のみらいを考えよう～あなたの思いやりを言葉にしてみよう～作文コンクールの表彰式が行われました。総応募数638作品の中から22作品が受賞しました。表彰式では、優秀作品の朗読(4作品)も行われ、小中学生の心温まる介護への思いが各賞にあふれていました。令和4年度(第3回)も引き続き募集します。「介護」や「福祉」について考えるきっかけになることを願います。



(介護福祉研究センター長 中川 千代)

## 人生余滴

### 私にとっての初心

今から34年前、高田中高等学校の学内誌『高田校報』「宗教のページ」に「私にとっての初心」と題して次の文を書きましたが、恩師から教えていただいた言葉は今でも新鮮です。

「脚下を照顧せよ」という言葉がありますが、私たちの目は普段どこを向き何を如何に見ているのでしょうか。

三浦綾子さんは、随筆の中で次のようなことを言っておられます。今の夫と出会って、彼から電話で「綾子と呼んでもいいかい」と言われた時、彼女は受話器を持つ手と体が震えたのだそうです。しかし今では、「綾子、綾子」と呼ばれるのが、うるさいとさえ感じるように

なっただけなんです。ですから、出会った時の「初心」を忘れないようにと書いておられます。

(中略)

振り返ってみますと、私たちの目は、悲しいかな外に向かってついていますし、そして自分勝手なところで不平不満不足ばかり追い求めるような目になっているのではないのでしょうか。そして、見つめる方向を誤っているが故に、『生まれてよかった』と言えるような、真に満ち足りた生を実感していないのではないのでしょうか。惰性に流れ、騒々しい私の日々において、「自己とは何ぞや。これ人生の根本問題なり」という言葉に接し、我が身を震えさせたその初心に立ち返ってこそ、いつも新たなスタートが与えられることであります。

(子ども学科 松山 智道)



## 森と生きている

「森と生きている」とは、短大裏山を拓き、そこに身をおいて過ごすことで自ずと浮かんだフレーズだ。生命あるものの中で人間こそが一番、人間の営み最優先にこれまで歴史を紡いできた、とユヴァル・ノア・ハラリ著『サピエンス全史』が現代までの文明が築かれた理由を七万年前から遡り解き明かしている。そして、現代は「核兵器が人類の生存を脅かす」、未来は「知的設計が生命の

基本原理となるか？」と予測している。まさに、ウクライナの戦争では人間が人間を滅ぼし、人間が人間を創るデザイナーベビーとの言葉も耳にする現代だ。一方、地球の住民として持続可能な社会の実現のためにSDGsの取組みが盛んだ。人間として生存するために不可欠なこと、自然とともに在ることが再認識されている。

裏山は「たかたんフォレスト のびのびひろば」と学生が名付けた。自然の中でのびのび遊べるようにとの願いを感じる。令和3年度は、授業のフィールド、学生や教員の交流やおやこひろばのあそび場となった。各ゼミでは、竹を素材とした様々な活動が行われた。そのひとつの流しそうめんは竹を伐ることから始めた。自分たちの背丈の倍以上ある太い竹をのこぎり一本、学生四人ほどであれこれ試し伐り倒した。竹が倒れたときは大歓声。力と知恵を、とりわけ、「皆」で出して得た目的達成感は爽快なものだった。その竹を割き、節を取りやすりをかける工程には自ずと「役割分担」と「協力」が生まれた。また、椀と箸も学生の「工夫」と道具を使う「技術」で竹から創出した。そして、暑い夏の日々に水に流れる素麺をすくい食すことの「喜び」を得た。教室で頭を使うだけでは決して得られない体験だ。最近是非認知能力という言葉が流行しているが、それを伸ばすには自然体験が有効とのことだ。また、昨春、菌打ちをした椎茸が秋には笠がお目見えした。改めて自然の息吹を感じ、森は生命が育まれる場であることを実感した。

「自然」とは明治以前は「じねん」と読み、自分と自然が一体化したことを指したようだ。人間生活が自然とともにあることの良さを感じる森、それから「森と生きている」を感じる場として、これからも「たかたんフォレスト」とお付き合いしていきたい。

(子ども学科長 福西 朋子)



高短の魅力を  
ぎゅっと  
詰め込んだ  
プログラム

『2022オープンキャンパス』で高短のすべてがわかる!

6/4<sup>土</sup> 7/10<sup>日</sup>  
8/6<sup>土</sup> 8/21<sup>日</sup>

13:00~16:00

2023  
12/18<sup>日</sup> 3/12<sup>日</sup>

13:00~15:00

13:00~16:00

キャリア育成学科限定  
オフィスワークコース  
介護福祉コース 10/29<sup>土</sup>  
13:00~15:00

無料送迎バス  
運行情報

行き	津駅西口 ▶ 高田短大 12:00・12:10・12:20・12:30出発
帰り	高田短大 ▶ 津駅西口 15:30~17:00に随時出発

- 入試説明会
- 学科別模擬講座・体験コーナー
- キャンパスツアー
- 学生企画コーナー
- 各種相談コーナー
- 保護者ガイダンス など

オープンキャンパスの  
参加申込みはWEBで。



開催日、内容は変更になる場合がございます。  
最新情報は本学ホームページにてご確認ください。

高田短大 検索

●お問い合わせ TEL 059-232-2310(入試広報課)

本年度より津市のふるさと納税を利用して高田短期大学に寄附をしていただけるようになりました

本学の教育環境の充実のため、ご利用いただけますと幸いです。

ご不明点等ございましたら、短大事務局までご連絡下さい。 Tel:059-232-2310

【手順】①右のQRコードまたは津市のホームページをご利用ください。②納税いただくと「使い道」が聞かれます。③「こどもが未来に向かってかがやくまちづくり(高田短期大学)」を選択いただきますと、納税額の50%が本学へ寄附されます。なお、津市からの返礼品(津市在住の方除く)はお好きなものをご選択いただけます。



# 着任のみなさん



## 学生さんとともに…

### 子ども学科 河内 純子

本年度より、子ども学科特任講師として着任いたしました。これまで、幼稚園を中心に、たくさんのお子さん、そして保護者の方と出会い、ともに笑い、ともに喜び、ときにはともに涙を流してきました。

子どもたちが主体的に遊んだり生活したりする環境を整えることはもちろんのこと、その環境自体になり得る保育者を目指す学生さんたち。そのような未来ある学生さんたちとともに、私自身も新たな環境で成長していけるよう励んで参ります。これからどうぞよろしくお願い致します。



## 子どもと楽しむことができる保育者の育成を

### 子ども学科 中嶋 麻衣

4月より子ども学科で、「子ども家庭福祉」、「社会的養護の内容と方法」、「保育実習指導Ⅰ(2)」を担当させていただくことになりました。学生の皆さんと一緒に学び、さまざまなことを経験することによって得ることができる『気づき』を大切にしていきたいと考えております。子どもたちだけでなく、保護者や家族の思いを大切に寄り添うことができる保育者の育成に尽力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



## 着任のご挨拶 ～今の私にできること～

### キャリア支援センター 眞崎 俊明

大学卒業以来38年、県立高等学校、特別支援学校以外には疎いまま今に至ります。この度、学生の就職支援に関わることになり、「働く意義」、「社会が求める人材」など、業種を問わず求められる資質・能力に関しては経験を踏まえてお力になれると思っておりますが、保育・幼児教育、介護・福祉、一般事務については、キャリア支援センターの経験豊富なスタッフの力を頼りに、私自身も勉強しながら全力で学生を支援してまいります。気軽にお立ち寄りください。



## 未来ある皆さんに寄り添って

### キャリア支援センター 中村 昭子

これまでの39年間、公立幼稚園で担任、教頭、園長をし、最後の一年は指導担当監として各幼稚園の先生方と関わってきました。振り返ってみると、幼児教育に携わる40年間は、とても楽しく充実した日々でした。

学生の皆さんにとって、これからの未来が輝いていますように、自分に合った職場に就職できるためのサポートをさせていただけたら嬉しいです。皆さんの思いに寄り添い、一緒に進んでいきたいと思しますので気軽に声をかけてください。



## 皆さんのお話を聴かせてください

### カウンセリング室 亀山 裕美子

今年4月にカウンセラーとして着任しました亀山です。

これまで、行政や民間団体で相談業務に携わってきました。

学生時代に、自分がどのような人間なのかを知り、周囲や社会との関わりを考えることはとても大事なことです。

皆さんが気持ちや考えを吐き出して、ちょっとほっとしたり、考えを整理したりするお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



## 今号の表紙の題字デザインについて

「高田短期大学通信」の題字デザインを2022年4月19日から5月6日まで募集したところ全部で10点の作品応募がありました。どれも素敵な作品で選ぶのが難しかったのですが、最終的に子ども学科2年生の谷崎夕真さんの作品に決定しました。応募作品は次のとおりでした。



応募してくださった皆さん、ありがとうございました。  
(図書委員会)

## 本学の広報活動



本学では、ホームページはもちろん、公式Instagram等を活用して、大学生活の一幕、授業の具体的な学びの様子や各種行事等の活動内容を随時公開しています。新型コロナウイルス感染症の影響により制限される活動はあるものの、充実した学びの様子が確認できると思います。



また、今年度からの新たな取り組みとして、広報活動に特化した学生グループを立ち上げ、5名の2年生を任命いたしました。新鮮な感性を持った現役学生に広報活動への協力をしてもらうことで、今年度実施予定のオープンキャンパス等での積極的な活躍が期待されます。今後、学内での活動だけでなく学外への活動も含めた広報活動を展開して行く予定です。

(入試広報委員長 寶來 敬章)

## 本学の感染拡大防止対策



未曾有の事態であるコロナ禍も3年目に突入し、本学でも、学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立に尽力してきました。三重県に緊急警戒宣言やまん延防止等重点措置が発令された場合は、遠隔授業を中心として実施することとしていますが、それ以外は面接授業を基本として教育活動を行っています。

本学の主な感染拡大防止対策は以下の3点です。

- ①学生・教職員とも毎朝の検温と体調管理及び記録を行う。
- ②玄関や教室出入口に消毒液を配備し、入退室時等の手指消毒を励行する。
- ③当面の間、昼食は指定場所で黙食する。

友人と楽しく語らいながら食事をするという学生生活の1コマを経験できず、不自由な思いをさせていますが、マスクを外して会話をする場面が最も危険であることから、学生の皆さんには協力を求めています。今年度も、対策委員会が中心となり関係部署と協力しながら、新型コロナウイルス感染防止に万全の対策を講じていきます。

(新型コロナウイルス対策委員会 副委員長 野呂 健一)

### 人事

○退職	子ども学科	特任教授	河崎 道夫
	子ども学科	助教	武藤 敦士
	キャリア育成学科	講師	服部 優子
	キャリア育成学科	助教	山下 道世
	カウンセラー		橋本 景子
	キャリア支援センター		梶間 稔
	キャリア支援センター		中森 ちのり
○異動	図書館より高田中・高等学校事務部庶務課へ	小野 亜里紗	



## 公告

令和3年度における学校法人高田学苑の決算は次の通りですので、当学苑寄附行為第42条の規定に基づき公告いたします。

学校法人 高田学苑  
(単位:円)

### 貸借対照表 (令和4年3月31日)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(7,996,493,974)	(7,993,972,017)	(2,521,957)	固定負債	(263,346,327)	(248,468,308)	(14,878,019)
有形固定資産	(6,178,073,461)	(6,472,242,165)	(△294,168,704)	退職給与引当金	263,346,327	248,468,308	14,878,019
土地	1,025,122,922	1,025,122,922	0	流動負債	(432,987,401)	(434,391,412)	(△1,404,011)
建物	4,086,611,351	4,292,005,276	△205,393,925	未払金	59,112,937	59,096,844	16,093
構築物	691,697,195	760,123,982	△68,426,787	前受金	285,450,940	280,495,000	4,955,940
教育研究用機器備品	92,247,638	108,537,162	△16,289,524	預り金	27,419,290	32,885,968	△5,466,678
管理用機器備品	6,878,396	6,409,723	468,673	修学旅行費預り金	55,236,134	56,256,160	△1,020,026
図書	230,067,566	228,706,748	1,360,818	卒業諸費預り金	5,768,100	5,657,440	110,660
車輛	15,528,915	21,416,874	△5,887,959	負債の部合計	(696,333,728)	(682,859,720)	(13,474,008)
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	純資産の部			
特定資産	(1,797,607,036)	(1,468,768,806)	(328,838,230)	科目	本年度末	前年度末	増減
退職給与引当特定資産	263,490,000	262,490,000	1,000,000	基本金	(12,888,432,880)	(12,877,399,386)	(11,033,494)
施設設備拡充引当特定資産	1,534,117,036	1,206,278,806	327,838,230	第1号基本金	12,716,432,880	12,705,399,386	11,033,494
その他の固定資産	(20,813,477)	(52,961,046)	(△32,147,569)	第4号基本金	172,000,000	172,000,000	0
借地権	2,257,500	2,257,500	0	繰越収支差額	(△4,999,803,252)	(△4,995,508,584)	(△4,294,668)
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	翌年度繰越収支差額	△4,999,803,252	△4,995,508,584	△4,294,668
施設利用権	213,570	284,760	△71,190	純資産の部合計	(7,888,629,628)	(7,881,890,802)	(6,738,826)
ソフトウェア	1,035,440	968,470	66,970	負債及び純資産の部合計	(8,584,963,356)	(8,564,750,522)	(20,212,834)
有価証券	13,297,674	42,977,136	△29,679,462				
差し入れ保証金	350,000	350,000	0				
長期前払金	2,373,313	4,837,200	△2,463,887				
流動資産	(588,469,382)	(570,778,505)	(17,690,877)				
現金預金	402,724,770	328,253,006	74,471,764				
未収入金	90,443,927	141,723,507	△51,279,580				
前払金	91,212	91,212	0				
立替金	34,205,239	38,797,180	△4,591,941				
修学旅行費預り資産	55,236,134	56,256,160	△1,020,026				
卒業諸費預り資産	5,768,100	5,657,440	110,660				
資産の部合計	(8,584,963,356)	(8,564,750,522)	(20,212,834)				

## 令和3年度卒業生 就職先等一覧

### 子ども学科

#### ◆私立保育園

旭が丘保育園、イオンゆめみらい保育園 津南、泉の杜保育園、内部ハートピア保育園、えがおあけぼの保育園、えがお志摩保育園、えがお保育園、大里保育園、大谷台保育園、神戸保育園、キッズラボ保育園みその、白塚愛児園、白鳩保育園、清泉愛育園、大安中央保育園、第二長太の浦保育園、津愛児園、つくし保育園、豊野保育園、にじいろ保育園北加瀬、ニチイキッズさくらばし保育園、はなこま保育園、浜田保育園、ひまわり保育園、船江保育園、ほだいじIRORI園、マナ保育園、みどり保育園、みやま保育園、山室山保育園、りとるういず川口西口保育園、ローズ幼児園、わかすぎ第二保育園、若葉保育園

#### ◆私立幼稚園

あおい幼稚園、エンゼル幼稚園、さくら幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園

#### ◆私立こども園

石薬師こども園、いつきのみやこども園、蔵持こども園、こどもの杜ゆたか園、白百合幼稚園、高岡ほうりん認定こども園、竹野の森こども園、津カトリックこども園、津こども園、藤認定こども園、ほうりん認定こども園、ほだいじこども園、マリアこども園、みらいの森ゆたか園、明和ゆたか園、杜の街ゆたか園、ゆい保育園、ゆたかこども園、ゆたか認定こども園、和順こども園

#### ◆公立保育園

鈴鹿市立河曲保育所、玉城町立有田保育所、津市ひとみね保育園、松阪市立第二保育園、松阪市立つばな保育園、松阪市立西保育園、松阪市立駅部田保育園、松阪市立若草保育園、度会町立棚橋保育所

#### ◆公立保育園(臨時)

伊賀市立希望ヶ丘保育園、大台町立日進保育園、鈴鹿市立玉垣保育所、津市安濃保育園、松阪市立白鳩保育園、四日市市立中央保育園

#### ◆公立幼稚園(臨時)

松阪市立山室幼稚園

#### ◆公立こども園

亀山市立関認定こども園アスレ、松阪市立やまなみこども園

#### ◆公立こども園(臨時)

菰野町立菰野こども園、津市一志こども園

#### ◆施設

エスペランス四日市、心きらきら児童デイサービス事業所、放課後等デイサービスブルース、三重県福祉総合支援サービス(合) 絆伊勢教室、みどり自由学園、栗葉放課後児童クラブ

#### ◆企業

(株)板津商店、(株)トヨタレンタリース三重、(株)マーキュリー、上島小児科、五洋紙工(株)、三陽工業(株)

#### ◆進学

金城学院大学国際情報学部

#### ◆公務(臨時)

紀北町(事務職)

### キャリア育成学科 (オフィスワークコース)

#### ◆建設業

(株)川崎ハウジング、(株)ツカサ

#### ◆製造業

(株)杉村製作所、正和製菓(株)、東海罐詰(株)、橋本電子工業(株)、三重金属工業(株)

#### ◆情報通信業

(株)サイネックス、トランスシティコンピュータサービス(株)

#### ◆運輸業、郵便業

(株)日本陸送

#### ◆卸売業、小売業

(株)扇港電機、(株)林イマニティ、(株)ホンダカーズ三重東、(株)マルトアステム、(株)マルヤス、(株)ミツイパウ・マテリアル、アシメリー・クリエイト(株)、三洋自動車(株)、東洋冷蔵(株)、トヨタカラー三重(株)、ネットヨタノヴェル三重(株)、ネットヨタ三重(株)、三重いすゞ自動車(株)、三重ダイハツ販売(株)、三重トヨタ自動車(株)

#### ◆金融業、保険業

北伊勢上野信用金庫、JA共済連三重、

(株)三十三フィナンシャルグループ、

(株)百五銀行

#### ◆不動産業、物品賃貸業

(株)トヨタレンタリース三重

#### ◆学術研究、専門・技術サービス

伊勢労務管理事務所、井田裕明税理士事務所

#### ◆宿泊業、飲食サービス業

(株)ヨシックスフーズ、(株)宮川観光振興公社

#### ◆生活関連サービス業、娯楽業

TBCグループ(株)

#### ◆医療・福祉

(医)医王寺会 いおうじ応急クリニック、

(医)イワサ小児科、(医)宇治山田歯科医院、

(医)整形外科たかしクリニック、(医)もみの木歯科、(株)ソラスト、(株)ライフ・テクノ

サービス、(社福)あけあい会、(社福)名張育成会、

いわたこどもクリニック、坂倉内科医院、

坂倉眼科クリニック、林歯科医院、ふじた耳鼻

咽喉科、丸岡医院、村瀬病院グループ、ヤナセ

メディケアグループ、やまなかデンタルクリ

ニック

#### ◆複合サービス事業

(協組)亜細亜の橋

#### ◆進学

中部ライテックビジネス専門学校ライフテック科

#### ◆介護福祉コース

#### ◆老人福祉施設

(医)佐藤病院、(医)緑の風、(株)プロセスケ

ア、(株)ライフ・テクノサービス、(社福)あ

けあい会、(社福)永甲会、(社福)弘仁会、(社

福)慈童会、(社福)白壽会、(社福)若竹大寿会、

(有)介護センター田中、伊勢温泉観光(株)、

サントラフィック(株)、ヤナセメディケアグ

ループ

◆障がい者支援施設

(社福)永甲会

#### ◆企業

広伝(株)

#### ◆介護福祉コース

老人福祉施設

88%

障がい者支援施設 8%

企業 4%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%

建設業 6%

製造業 7%

情報通信業 4%

運輸業、郵便業 3%

卸売業、小売業 24%

金融業、保険業 9%

生活関連サービス業、娯楽業 2%

宿泊業、飲食サービス業 3%

学術研究、専門・技術サービス業 3%

不動産業、物品賃貸業 3%

医療、福祉 28%

複合サービス事業 2%

進学 2%

その他、アルバイト 4%